

抄遊交

縁あって二度も巡り合うことになった友がいる。食品機械メーカー、四国化工機社長の植田滋君で、中学校までともに徳島県海南町で過ごした幼なじみだ。

別々の高校に進学すると、めったに顔を合わけなくなった。その彼と再会したのが、慶応義塾大学のキャンパスであった。彼は慶大商学部、私が経済学部に進学を決めていた。東京で同郷の友に会えたらうれしきから、時間を見付けては酒を飲みに行った。

卒業後、彼は四国

銀行に人行、私は東京でベンチャー投資会社、日本合同ファイナンス（現シャフコ）に就職したので、会う機会はほとんどなくなった。だが、故郷のベンチャー企業育成という仕事で、力を合わせることになる。

シャフコを独立し、東京でベンチャー投資会社を創

業した私は、故郷の企業育成に役立ちたいとの思いを抱くようになった。そこで、ベンチャー団体の徳島ニュービジネス協議会に連絡を取ったところ、会長をしていただいたのが、植田君の父上で四国化工機創業者の植田道雄さんだったのだ。滋君は道雄さんの娘さんと結婚し、四国化工機に転職していた。

同志の支援起業

孝和

口村

私には起業家精神を育てるには幼少期からという信念があり、起業を教えるキャンプを催している。今年八・九月に初めて徳島県でこのキャンプを開いた。

実は滋君との付き合い

いは、祖父、竹次郎の時代から三代にわたる。植田君のご子息がもう少し大きくなれば、キャンプに我が子と一緒に参加してもらい、四代にわたる交流ができること楽しみにしている。むらぐち・かずたか（日本テクノロジーズベンチャーパートナーズ投資事業組合代表）